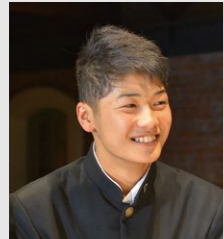


それぞれの「舞鶴の平成ビッグニュース」



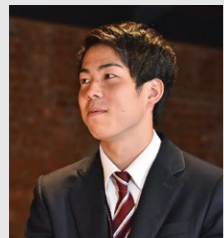
梅原崇矢さん（西舞鶴高校3年）
安心してくらせるようにしてほしい

「平成16年の台風23号で甚大な被害」です。僕が4歳の時に家が被災しました。今年の7月の豪雨でも床上浸水でした。水がだんだん上がってくる怖い思いをしたので印象深いです。



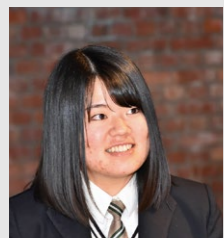
太田航介さん（舞鶴高専5年）
京都が近くなった

「平成27年の京都縦貫道全線開通」です。実家の大山崎町から舞鶴高専までは、京都縦貫道をいったん降りて一般道を行っていましたが、大山崎インターから舞鶴東インターまで高速でつながって1時間半くらいで行けるようになりました。すごく便利でありがたいです。



藤原優さん（東舞鶴高3年）
オリンピックを身近に感じて

「平成16年の舞鶴市出身の山口有希選手がアテネ五輪陸上競技1600mリレーで4位入賞」です。今、山口選手は東高の先生になられて、陸上を教えてください。オリンピックに直接教えてもらえるなんて光栄で、とても誇りに思います。



吉本美佳さん（日星高3年）
まちがにぎやかになっているのが嬉しい

「平成29年のクルーズ客船の入港が過去最多の39回」です。西舞鶴に住んでいるので、ここ数年クルーズ客船を見る機会がすごく多くなりました。親がとれとれセンターでお店をしているので、外国の方が増えたのを実感します。舞鶴が観光面でも知られてきたと思います。



上野和美さん（NPO法人まいづるネットワークの会）
自慢できる美しい風景

「平成7年の五老スカイタワー完成」です。平成5年に久しぶりに舞鶴に戻ってきて、しばらくして五老からの風景がニュースで流れるのを見て、本当にきれいだと思えました。



澁谷恵一さん（自治連・区長連協議会）
住みやすいまちを目指して

「平成4年の東駅付近連続立体交差・周辺区画整理事業が起工」と「平成8年のJR東駅付近の鉄道高架開通」。この事業の担当をしていたので、駅に感慨深いものがあります。調整は大変でしたが、駅の南北が一体化され住みやすさが向上したと思います。



谷口英子さん（社会教育委員）
地域のコミュニティーの大切さ

「平成16年の台風23号で甚大な被害」です。加佐地域に住んでいて乳幼児の子どもが3人いました。いざ逃げようにも子どもを抱く大人が足りず核家族の危うさを実感しました。地域の人に「小さい子がいて大丈夫だった？」と声をかけられ、大切なのは地域のつながりだと思わされた災害でした。



福原習作さん（城北校区地域支援協議会）
地域の皆さんと共に住みやすいまちをつくる

「平成16年の台風23号で甚大な被害」です。平成16年は何十年振りの大きな被害でした。表具店という仕事柄、被災地に入りましたが悲惨な状況でした。復旧するまで1年以上加佐地区で被災された方に声をかけたことが強く記憶に残っています。

平成を築いた世代×次の時代を担う若者

私たちのまちへの思い



平成の30年間に舞鶴市で起こった出来事を世代の違う8人に、それぞれの視点で振り返ってもらいました。さまざまな変遷をたどった舞鶴市。今の舞鶴をどう思うか。そして、次の時代を担う若者たちは、舞鶴の将来像をどう考えるのか。

「今の舞鶴を語る」

澁谷 外から舞鶴を見た人は、歴史自然、海などすごくポテンシャルの高いまちだと言ってくれるのに、市民はそう感じていない。若者からは、不便だとか遊ぶところが少ないという話をよく聞くので、こういったことも今後は考えないといけないのかなと思います。

梅原 空気のきれいな舞鶴が好きです。東西のまちのバランスが良いところも魅力だと思います。

太田 市外から来て最初は交通のアクセスが悪くて不便だな。でも、赤れんがや引き揚げなど、まちの歴史があり、海がすぐ近くにあるのはうらやましいし、おいしいものもたくさんあります。

藤原 海上自衛隊が舞鶴にあるから住み慣れたまちを離れなくてもいいと思って進路を海上自衛隊にしました。



吉本 生まれ育ったまちなので好きです。最近は観光客も増えて、活気が出ていいなと思っています。

谷口 舞鶴出身の方ってあまり舞鶴のことを褒めませんね。自虐的というか（笑）。良いところは褒めればいいと思います。それに西か東か？という意識があるのは驚きました。

上野 西は城下町、東は海軍から発展した複眼都市なのは、舞鶴の特徴でよいと思いますが「舞鶴人」として気持ちは1つになりたいですね。

福原 西地区で商売を始める時に「西は難しいよ」と言われましたが学校のPTAや民生委員をして地域と関わるうちに、少しずつ受け入れられました。

澁谷 昔は体育館もプールもなんでも東西と同じようにありましたが、最近は東西意識が薄れて「舞鶴は1つ」になりつつあると感じます。

「クルーズ客船の増加」

若者4人からは、京都縦貫道の開通やクルーズ客船の入港が増え、嬉しいという意見が上がりました。

梅原 船が入港しているときに港の近くを通ると、ビルが建ったのかと思うほど大きくなってびっくりします。

福原 船によって乗客のメインが欧米人の時もあれば中国人、日本人の時もあるので、それに合わせたおもてなしが難しいですね。



もっと外国人観光客の消費を商店街で取り込みたいといけないのですが、乗客の要望とこちらのサービスが一致していないと感じます。船員やスタッフもたくさんいるので、彼らへのアプローチも大切です。

太田 舞鶴港で必ずクルーズの乗客が降りる。そのお客を取り込む余地がまだまだあって、舞鶴が発展する可能性があると考えたら若い世代が反応したんだと思います。

上野 舞鶴港に降りても、京都市内や府北部にバスで行ってしまうのかと思っていましたが、舞鶴を散策する人たちもいるんですね。

「子育て環境」

舞鶴市では「子育てに優しいまち、舞鶴」を目指しています。そこで、子育て経験者の意見を聞きま

上野 自衛隊員の奥さんは、以前は舞鶴に赴任が決まれば「ドボン」と言って嫌がっていたようですが、今では「転勤したくない。また戻ってきます」と言ってくれます。この変化を実感でき本当に嬉しいです。

谷口 乳幼児教育ビジョンなど、本当に素晴らしいです。でも住んでいるとそれが当然で、ありがたさに気付いてもらえない。私は子育てに携わっているので、保育者の関わり方や保育の内容が他のまちとは違うことをとても感じます。

澁谷 観光などで人を集めることも大切ですが、住みやすい環境を整えることで「人が戻る」「集まる」「離れない」ことが大切なんだと思います。

谷口 住んでいる人の満足度が大事。子育て中の親が、この地域は恵まれていて、温かいと思っていれば自然と子ども達に伝わります。

上野 子育て世代にアプローチすることで、次世代が地域とつながる。親たちが心豊かに過ごせることが大事なんじゃないでしょうか。ハード面で都会と比べられるとかないませんが、このまちは、家

族以外にも頼れる人がいるということ伝えていきたいです。

澁谷 今までは建物などのハード面が重視されることが多かったですが、これからは人のつながり、住みやすさがキーワードになるんじゃないかな。

福原 都会まで出なくても子育て世代が楽しめる場所を提供できないか、若い人たちが楽しめる仕掛けを考えていきたいです。

「これからの舞鶴」

若者4人に、これからのまちへの思いについて聞きました。

太田 進学や就職で舞鶴を出ても誇りを持ってまちの良さを伝えることが大切だと思います。子育て環境の充実など、もっと知ってもらうことで、外に出た人がまた戻ってくれるまちになると思います。

梅原 同世代の人が満足して暮らせるまちにしたいです。若い人たちが舞鶴に帰ってきてほしいなと思う魅力あるまちにしようと思います。

吉本 全国チェーンの店が増えるのではなく、舞鶴らしいお店が増えて他の観光地と違う「舞鶴らし

さ」が大事だと思います。地域の人たちに見守られ育てられてきたので、そんな舞鶴の温かさを伝えていきたいです。

藤原 中・高生は遊びたい盛りなので、舞鶴に対する不満もあるけど、今日、舞鶴について話をしたら、舞鶴の良さいろいろ気付かされました。中・高生にそれを伝える場を作り、知ってもらうことでさらに住みやすいまちになっていくと思います。